



2023年10月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年6月12日

上場会社名 巴工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6309 URL <https://www.tomo-e.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 玉井 章友

問合せ先責任者 (役職名) 経理部担当取締役執行役員 (氏名) 橘田 一幸

TEL 03-3442-5127

四半期報告書提出予定日 2023年6月14日

配当支払開始予定日

2023年7月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年10月期第2四半期の連結業績(2022年11月1日～2023年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年10月期第2四半期	24,155	9.9	2,062	14.5	2,075	10.4	1,416	11.3
2022年10月期第2四半期	21,972		1,802	6.8	1,879	4.1	1,595	9.4

(注) 包括利益 2023年10月期第2四半期 1,240百万円 (29.6%) 2022年10月期第2四半期 1,763百万円 (6.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年10月期第2四半期	141.91	
2022年10月期第2四半期	159.94	

(注) 前第1四半期連結会計期間の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しており、売上高に大きな影響が生じるため、2022年10月期第2四半期の売上高の対前年同四半期増減率は記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年10月期第2四半期	47,005	35,349	75.2
2022年10月期	45,742	34,387	75.2

(参考) 自己資本 2023年10月期第2四半期 35,349百万円 2022年10月期 34,387百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年10月期		25.00		28.00	53.00
2023年10月期		40.00			
2023年10月期(予想)				40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年10月期の連結業績予想(2022年11月1日～2023年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,460	6.3	3,590	8.8	3,600	5.2	2,430	8.6	243.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年10月期2Q	10,533,200 株	2022年10月期	10,533,200 株
期末自己株式数	2023年10月期2Q	554,940 株	2022年10月期	554,940 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年10月期2Q	9,978,260 株	2022年10月期2Q	9,978,278 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表および主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書および四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(表示方法の変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、期初は伸び悩みましたが、足元では輸出が減少に転じたものの、個人消費や設備投資の伸びを背景にプラス成長となりました。一方、海外においては米国経済は成長率が鈍化しているものの底堅さを維持し、中国経済は回復傾向にあり、欧州経済は成長率が鈍化しています。

こうした情勢の下、当第2四半期連結累計期間における売上高は化学工業製品販売事業の販売が伸長したことを主因に前年同期比9.9%増の24,155百万円となりました。利益面につきましては、化学工業製品販売事業が増益となったことを背景に営業利益が前年同期比14.5%増の2,062百万円、経常利益が前年同期比10.4%増の2,075百万円となったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益については前年度に計上した固定資産売却益が無いことから前年同期比11.3%減の1,416百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

(機械製造販売事業)

機械製造販売事業では、国内官需向けの販売が全般的に伸び悩んだものの、海外向け機械の販売が大きく伸長したことに加えて装置・工事と部品・修理の販売も伸び、更に国内民需向け機械の販売が堅調だったことから当四半期連結累計期間の売上高は前年同期比3.8%増加し5,798百万円となりました。

(単位：百万円)

	品目区分	機械	装置・工事	部品・修理	合計
官 需	22/04	473	550	1,932	2,956
	23/04	343	422	1,791	2,556
	差 異	△130	△127	△141	△399
民 需	22/04	141	59	971	1,171
	23/04	219	2	975	1,197
	差 異	78	△56	4	26
海 外	22/04	465	34	955	1,454
	23/04	915	87	1,041	2,043
	差 異	450	52	85	588
合 計	22/04	1,079	643	3,859	5,583
	23/04	1,478	512	3,807	5,798
	差 異	398	△131	△51	214

利益面につきましては、国内官需向けの販売が伸び悩んだことを主因に営業利益は前年同期に比べ42.9%減少し327百万円となりました。

(化学工業製品販売事業)

化学工業製品販売事業では、機能材料関連の半導体製造用途向け材料等が大きく伸びた他、鉱産関連の建材・自動車用途向けを主とした材料、化成品関連の塗料・インキ用途向けを主とした材料、合成樹脂関連の樹脂および製品等の販売が伸長したことから当四半期連結累計期間の売上高は前年同期比12.0%増加し18,357百万円となりました。

(単位：百万円)

	22/04	23/04	差 異
合成樹脂関連	2,382	2,582	199
工業材料関連	3,122	2,983	△139
鉱産関連	2,362	2,897	535
化成品関連	3,976	4,224	248
機能材料関連	1,931	3,016	1,085
電子材料関連	2,491	2,518	26
その他(洋酒)	122	134	11
合計	16,389	18,357	1,967

利益面につきましては、販売が好調に推移したことから営業利益は前年同期比41.3%増加し1,735百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産は、現金及び預金並びに商品及び製品が減少した一方、電子記録債権並びに原材料及び貯蔵品の増加等により、前連結会計年度末比1,263百万円増加し47,005百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金並びに賞与引当金が減少した一方、契約負債および電子記録債務の増加等により、前連結会計年度末比301百万円増加し11,656百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末比961百万円増加し35,349百万円となりました。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末と同率の75.2%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動で収入になった一方、投資活動および財務活動の各段階で支出になったことにより、前連結会計年度末比403百万円減少し10,329百万円となりました。ここに至る当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況とその変動要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動による資金の増加は、292百万円となりました。これは、売上債権及び契約資産の増加1,052百万円、棚卸資産の増加563百万円並びに法人税等の支払729百万円があったものの、税金等調整前四半期純利益の2,087百万円および契約負債の増加601百万円等によるものです。なお、前年同四半期連結累計期間の1,507百万円の支出から292百万円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動による資金の減少は、291百万円となりました。これは、有形固定資産の取得による支出71百万円があったものの、定期預金の預入、払戻による差額200百万円等によるものです。なお、前年同四半期連結累計期間の3,794百万円の支出に比べ3,503百万円の支出減少となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動による資金の減少は、279百万円となりました。これは、配当金の支払額279百万円によるものです。なお、前年同四半期連結累計期間の249百万円の支出に比べ29百万円の支出増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年10月期の連結業績予想につきましては、2023年6月7日に「業績予想の修正に関するお知らせ」において公表しました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表および主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,732,583	10,529,501
受取手形、売掛金及び契約資産	13,297,252	13,184,181
電子記録債権	3,466,717	4,471,466
商品及び製品	5,839,927	5,577,931
仕掛品	1,282,752	1,487,582
原材料及び貯蔵品	1,120,659	1,612,249
その他	323,406	437,736
貸倒引当金	△83,122	△68,002
流動資産合計	35,980,178	37,232,646
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,144,878	5,120,631
減価償却累計額	△2,209,570	△2,267,121
建物及び構築物（純額）	2,935,308	2,853,509
機械装置及び運搬具	4,298,347	4,259,396
減価償却累計額	△3,820,079	△3,803,717
機械装置及び運搬具（純額）	478,268	455,679
土地	2,304,010	2,303,274
建設仮勘定	17,347	3,863
その他	1,139,081	1,159,154
減価償却累計額	△1,049,820	△1,072,291
その他（純額）	89,261	86,863
有形固定資産合計	5,824,196	5,703,190
無形固定資産	86,835	93,510
投資その他の資産		
投資有価証券	1,306,889	1,406,363
差入保証金	563,224	558,435
退職給付に係る資産	1,908,244	1,935,802
繰延税金資産	6,291	5,182
その他	88,304	92,347
貸倒引当金	△21,892	△21,892
投資その他の資産合計	3,851,061	3,976,237
固定資産合計	9,762,093	9,772,939
資産合計	45,742,272	47,005,585

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,582,839	4,186,526
電子記録債務	2,238,380	2,589,200
未払金	744,644	781,796
未払法人税等	769,585	522,668
契約負債	291,848	890,463
賞与引当金	1,507,631	1,146,775
役員賞与引当金	103,889	52,665
製品補償損失引当金	200,287	145,414
その他	236,306	459,232
流動負債合計	10,675,412	10,774,743
固定負債		
役員退職慰労引当金	5,460	—
退職給付に係る負債	74,120	76,676
繰延税金負債	599,474	804,976
固定負債合計	679,055	881,653
負債合計	11,354,468	11,656,396
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,061,210	1,061,210
資本剰余金	1,483,410	1,483,410
利益剰余金	30,882,276	32,018,940
自己株式	△364,148	△364,148
株主資本合計	33,062,747	34,199,411
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	362,745	436,765
繰延ヘッジ損益	11,637	7,074
為替換算調整勘定	801,149	573,729
退職給付に係る調整累計額	149,523	132,208
その他の包括利益累計額合計	1,325,056	1,149,777
純資産合計	34,387,804	35,349,189
負債純資産合計	45,742,272	47,005,585

(2) 四半期連結損益計算書および四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)
売上高	21,972,451	24,155,024
売上原価	16,410,974	17,960,161
売上総利益	5,561,476	6,194,863
販売費及び一般管理費	3,759,268	4,131,874
営業利益	1,802,208	2,062,988
営業外収益		
受取利息	759	7,105
受取配当金	17,633	20,838
受取賃貸料	3,658	4,015
為替差益	43,654	—
その他	21,291	24,850
営業外収益合計	86,997	56,809
営業外費用		
支払利息	1,232	360
支払手数料	7,487	7,487
為替差損	—	35,068
その他	1,236	1,383
営業外費用合計	9,956	44,300
経常利益	1,879,248	2,075,497
特別利益		
固定資産売却益	456,447	—
投資有価証券売却益	—	11,907
特別利益合計	456,447	11,907
税金等調整前四半期純利益	2,335,696	2,087,405
法人税、住民税及び事業税	569,249	489,039
法人税等調整額	170,496	182,310
法人税等合計	739,746	671,350
四半期純利益	1,595,950	1,416,054
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,595,950	1,416,054

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)
四半期純利益	1,595,950	1,416,054
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△79,753	74,020
繰延ヘッジ損益	8,258	△4,563
為替換算調整勘定	261,621	△227,420
退職給付に係る調整額	△22,377	△17,315
その他の包括利益合計	167,747	△175,278
四半期包括利益	1,763,698	1,240,776
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,763,698	1,240,776

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,335,696	2,087,405
減価償却費	181,288	187,919
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△397,617	△359,308
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△38,427	△51,223
製品補償損失引当金の増減額 (△は減少)	△138,624	△54,872
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	—	△5,460
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	851	2,555
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△27,537	△27,558
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	287	△8,772
受取利息及び受取配当金	△18,393	△27,944
支払利息	1,232	360
為替差損益 (△は益)	△15,820	101,572
固定資産売却損益 (△は益)	△456,447	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△11,907
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△1,666,043	△1,052,373
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,226,302	△563,362
前渡金の増減額 (△は増加)	27,267	△224,121
仕入債務の増減額 (△は減少)	151,044	58,844
未払金の増減額 (△は減少)	57,179	49,638
契約負債の増減額 (△は減少)	664,626	601,189
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△166,407	344,430
その他	△73,882	△53,045
小計	△806,028	993,964
利息及び配当金の受取額	18,436	28,124
利息の支払額	△1,239	△367
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△719,015	△729,560
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,507,847	292,160
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△8,000,000	△4,200,000
定期預金の払戻による収入	4,000,000	4,000,000
有形固定資産の取得による支出	△119,392	△71,134
有形固定資産の売却による収入	491,734	—
無形固定資産の取得による支出	△13,412	△35,704
投資有価証券の取得による支出	△7,334	△803
投資有価証券の売却による収入	—	21,213
貸付けによる支出	△540	△5,886
貸付金の回収による収入	610	360
差入保証金の増減額 (△は増加)	△145,021	747
その他	△1,426	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,794,782	△291,214
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△66	—
配当金の支払額	△249,457	△279,391
財務活動によるキャッシュ・フロー	△249,524	△279,391
現金及び現金同等物に係る換算差額	139,612	△124,637
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△5,412,541	△403,081
現金及び現金同等物の期首残高	12,607,490	10,732,583
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,194,949	10,329,501

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。

なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(表示方法の変更)

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書)

前第2四半期連結累計期間において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めておりました「前渡金の増減額」は、金額的重要性が増したため、当第2四半期連結累計期間より独立掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に表示していた△46,615千円は、「前渡金の増減額」27,267千円、「その他」△73,882千円として組替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年11月1日 至 2022年4月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			四半期連結 損益計算書 計上額
	機械製造販売	化学工業製品販売	計	
売上高				
外部顧客への売上高	5,583,096	16,389,354	21,972,451	21,972,451
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—
計	5,583,096	16,389,354	21,972,451	21,972,451
セグメント利益	574,586	1,227,622	1,802,208	1,802,208

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			四半期連結 損益計算書 計上額
	機械製造販売	化学工業製品販売	計	
売上高				
外部顧客への売上高	5,798,007	18,357,017	24,155,024	24,155,024
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—
計	5,798,007	18,357,017	24,155,024	24,155,024
セグメント利益	327,858	1,735,130	2,062,988	2,062,988

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。